

マイヒストリー

赤嶺 昭

今年で78歳になります

出身は豊後大野市千歳町 昭和41年に大分工業高校を卒業して 国鉄(今のJR)に就職しました 福岡 東京 と勤務を転々としました 26歳の時に 父が「長男は家の跡継ぎ 親や墓の面倒を見てもらうので 大分に帰って来い」と言われて 大分に帰ってきました その時 妻と二人の子供がいました 住まいは千歳町の実家で 毎日職探しに明け暮れました アルバイトをしながら 正社員の仕事を探していました 28歳の時に知人が「赤嶺さん 仕事は決まったな」と言われて 「アルバイトはあるのですが 中々正社員の仕事は決まりません」とすると「2年間も仕事が決まらなかったら 諦めたら」「諦めたら生活が出来ません」「社員になるのが能ではない 自分で起業したら」初めて起業の言葉を聞きました 「自分ですると言っても 何の仕事が良いですかね」「これからは教育産業ですよ」「教育産業といつても 色々あるが 何の仕事ですか」「赤嶺さん これからは学習塾の時代ですよ」「学習塾をやりなさい」正に青天の霹靂です 私は幼稚園にも行ってない 工業高校ですので 大学にも行ってない そんな私に学習塾ができるだろうか そんな思いが浮かびましたが 「これはチャンスかもしれない やってみよう」私は早速大分で学習塾をやっていました 大分学習館の坂本先生を訪ねました 「坂本先生 私学習塾をやろうと思うけど いかがでしょうか」「赤嶺さん 素晴らしい これからは学習塾の時代ですよ是非ともやりましょう」そう言って肩を押されました 「坂本先生私は学習塾のノウハウもわかりません お金もありません すみませんが この事務所の一隅を貸してくれませんか ここで勉強します」「いいですよ いいですよ 是非使って下さい」坂本先生のご厚意で事務所を借りる事が出来ました その時持ち込んだのが 事務机一つ 電話一台 前年度の税金の還付金 5万円 でした これがディック学園のスタートでした 学習塾の勉強しながら 次々と学習塾を開業しました

学習塾を運営している時に 東京からテキストを取り寄せました そのテキストを包装していた 東京新聞に 2行の広告で 家庭教師します という文面を見つけました 「東京は凄いな 家庭教師の時代になっている これからは家庭教師の時代だ」

「プロの家庭教師の派遣を始めよう」「大分家庭センター」を設立しました これがディック学園のメイン事業の始まりでした

家庭教師派遣は大分を皮切りに 鹿児島 熊本 久留米 福岡 北九州 沖縄 広島 と 西日本一帯で開業しました

52歳の時 實崎社長の紹介で 大分南ロータリークラブに入会させて頂きました 入会して「職業奉仕」を学ばせて頂きました。 最初の地区大会で 寿崎パストガバナーが指導され 「職業奉仕は お客様を喜ばせる事である」「職業奉仕はお客様を喜ばせ続ける事である」と 教えて頂きました。この教えは私にとっては 大変衝撃でした 今まで会社を経営して 「売り上げを上げる」「利益をあげる」その一辺倒でした これからは 売り上げ より 「お客様を喜ばせる事に 経営方針を変えよう」